

# 水難事故のあらまし

～平成29年中の水難事故と救助活動状況～



岐 阜 県 警 察 本 部

## 目 次

第1	水難事故の発生状況	
1	概況	1
2	過去10年間の発生状況	2
3	月別発生状況	3
4	場所別発生状況	4
5	態様別発生状況	5
6	曜日別発生状況	6
7	原因別発生状況	6
8	年齢別発生状況	7
9	子ども（中学生以下）の水難事故発生状況	8
10	高齢者（65歳以上）の水難事故発生状況	9
11	居住地別事故者数	10
第2	水難救助活動の状況	
1	出動状況	10
2	救助事例	11
3	水難救助訓練実施状況	11
4	小型船舶操縦士の養成	12
第3	その他	
1	水上バイク等の事故防止対策	12
2	水難事故防止広報活動	13

### 表 紙 写 真

関市（長良川）における警察・消防合同による水難救助訓練  
（平成29年5月撮影）

# 第1 水難事故の発生状況

## 1 概況

[平成29年中の岐阜県内における水難事故の発生状況]

発生33件（前年比-3件）、事故者38人（前年比±0人）

[事故者の内訳]

- 死亡 16人（前年比 -9人）
- 行方不明 0人（前年比 ±0人）
- 負傷 5人（前年比 +2人）
- 無事救助 17人（前年比 +7人）

[主な特徴]

- 前年に比べ発生件数が減少
- 発生件数全体の約79%（26件）が8月～9月の2ヶ月間に集中
- 発生件数全体の約91%（30件）が河川で発生、うち30%（9件）が長良川で発生
- 魚釣り・魚取り中の事故が最多（17件、前年比+5件）
- 高齢者（65歳以上）の事故が減少（17人、前年比-1人）したものの、事故者総数の約半数を占める

[水難事故の発生状況(前年比)]

区分 年別	発生件数 (件)	事故者数(人)					
		死亡	行方不明	救出救助			
				重傷	軽傷	無事救助	
平成29年	33	38	16	0	5	0	17
平成28年	36	38	25	0	0	3	10
増減	-3	±0	-9	±0	+5	-3	+7



警察・消防合同による水難救助訓練（長良川）

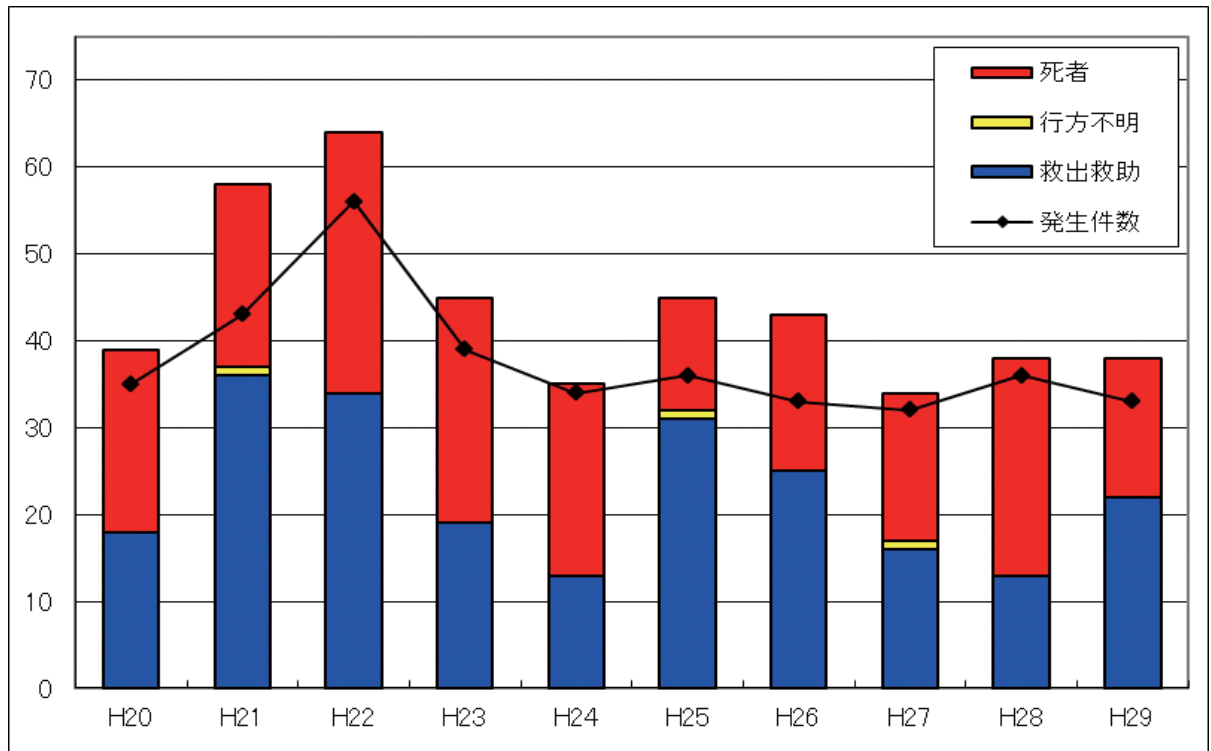
## 2 過去10年間の発生状況

- 前年に比べ、発生件数が減少した。

[過去10年間の発生状況]

区分 年 別	発生件数 (件)	事 故 者 数 (人)			
		死亡	行方不明	救出救助	
平成20年	35	39	21		18
平成21年	43	58	21	1	36
平成22年	56	64	30		34
平成23年	39	45	26		19
平成24年	34	35	22		13
平成25年	36	45	13	1	31
平成26年	33	43	18		25
平成27年	32	34	17	1	16
平成28年	36	38	25		13
平成29年	33	38	16		22

(件) (人)



### 3 月別発生状況

○ 8月～9月の2ヶ月間の発生が、26件（前年比+6件）で全体の約79%を占めている。

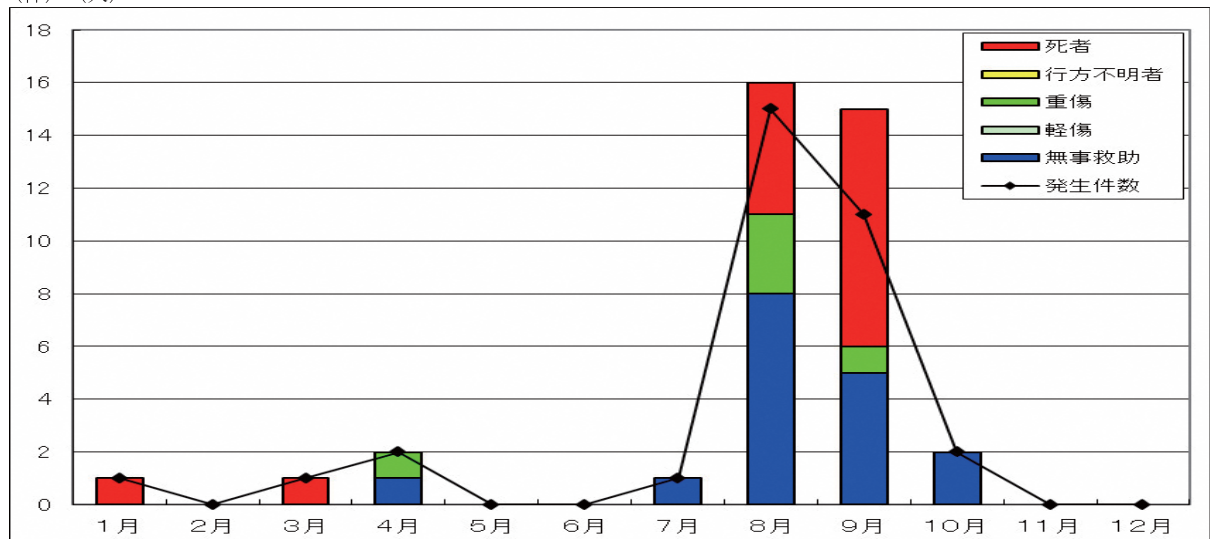
事故者数は31人（前年比+10人）で、内訳は、死亡14人（前年比-1人）、行方不明0人（前年比±0人）、救出救助17人（前年比+11人）であった。

○ 前年に比べ、夏期シーズン（7月～8月）後の9月の発生が、11件（前年比+7件）15人（前年比+11人）と大幅に増加した。

[月別発生状況]

区分 月別	発生件数 (件)	事故者数(人)					
			死亡	行方不明	救出救助		
					重傷	軽傷	無事救助
1月	1	1	1				
2月							
3月	1	1	1				
4月	2	2			1		1
5月							
6月							
7月	1	1					1
8月	15	16	5		3		8
9月	11	15	9		1		5
10月	2	2					2
11月							
12月							
合計	33	38	16		5		17

(件) (人)



## 4 場所別発生状況

○ 河川での事故が最も多く、30件（前年比－2件）発生し、全体の約91%を占めている。

事故者数は35人（前年比＋1人）で、内訳は、死亡15人（前年比－7人）、行方不明0人（前年比±0人）、救出救助20人（前年比＋8人）であった。

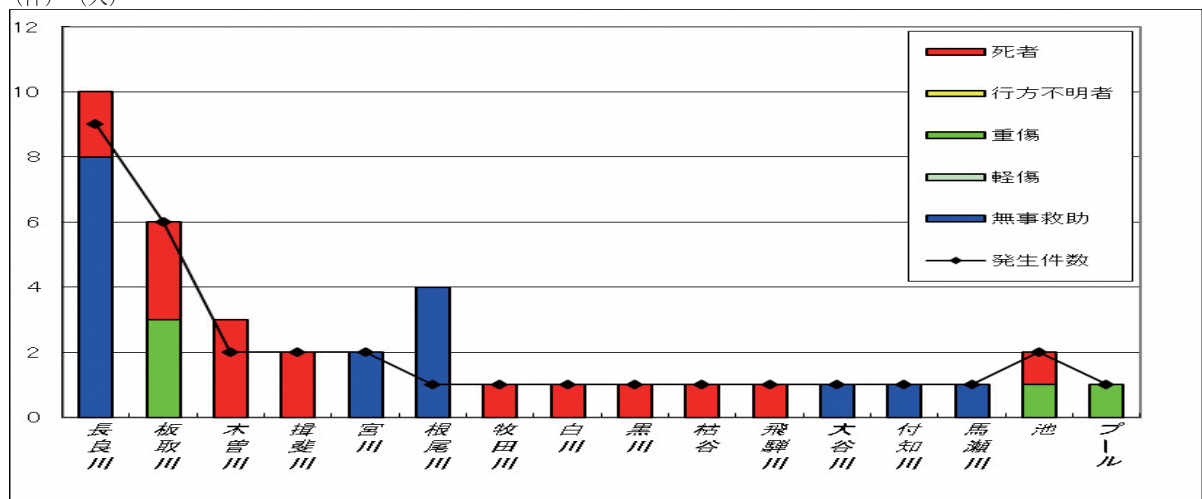
○ 河川別では、長良川での発生が最も多く、9件（前年比±0件）発生し、河川全体の30%を占めている。

事故者数は10人（前年比±0人）で、内訳は、死亡2人（前年比－5人）、行方不明0人（前年比±0人）、救出救助8人（前年比＋5人）であった。

[場所別発生状況]

場所別	区分	発生件数 (件)	事故者数(人)					
			死亡	行方不明	救出救助			
					重傷	軽傷	無事救助	
河川		30	35	15		3		17
長良川		9	10	2				8
板取川		6	6	3		3		
木曾川		2	3	3				
揖斐川		2	2	2				
宮川		2	2					2
根尾川		1	4					4
牧田川		1	1	1				
白川		1	1	1				
黒川		1	1	1				
枯谷		1	1	1				
飛騨川		1	1	1				
大谷川		1	1					1
付知川		1	1					1
馬瀬川		1	1					1
池		2	2	1		1		
プール		1	1			1		
合計		33	38	16		5		17

(件) (人)



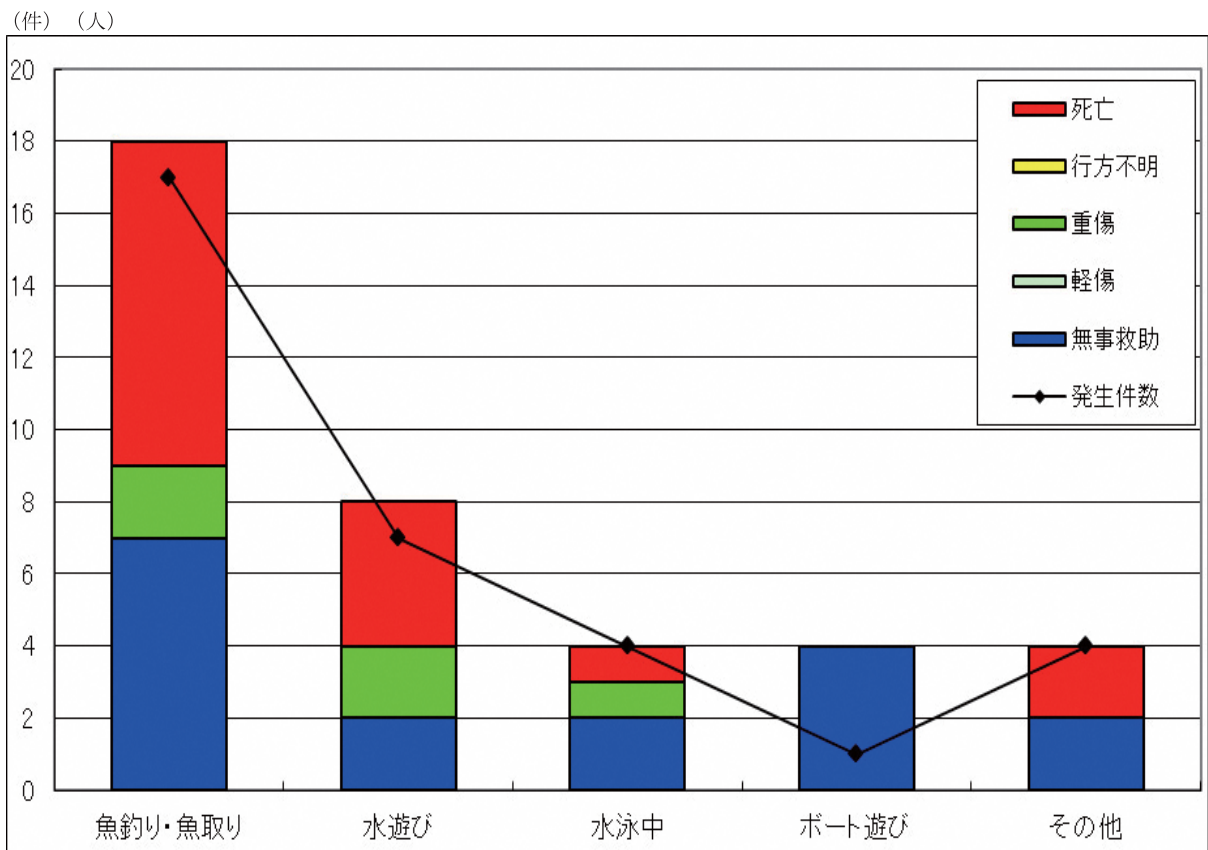
## 5 態様別発生状況

○ 魚釣り・魚取り中の事故が最も多く、17件（前年比+5件）発生し、全体の約52%を占めている。

事故者数は18人（前年比+6人）で、内訳は、死亡9人（前年比-2人）、行方不明0人（前年比±0人）、救出救助9人（前年比+8人）であった。

[態様別発生状況]

区分 態様別	発生件数 (件)	事故者数(人)					
		死亡	行方不明	救出救助			
				重傷	軽傷	無事救助	
魚釣り・魚取り	17	18	9		2		7
水遊び	7	8	4		2		2
水泳中	4	4	1		1		2
ボート遊び	1	4					4
その他	4	4	2				2
合計	33	38	16		5		17



## 6 曜日別発生状況

[曜日別発生状況]

- 金曜日の発生が9件（前年比+4件）と最も多く、全体の27%を占めている。



## 7 原因別発生状況

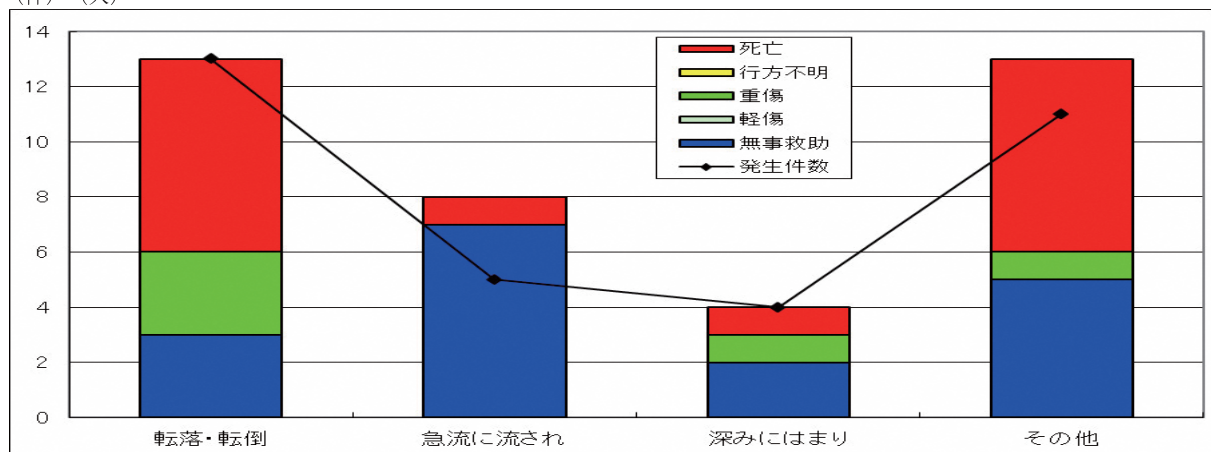
- 転落・転倒の事故の発生が、13件（前年比+7件）13人（前年比+6人）と最も多い。

事故者数はこの内訳は、死亡7人（前年比+3人）、行方不明0人（前年比±0人）、救出救助6人（前年比+3人）であった。

[原因別発生状況]

区分 原因別	発生件数 (件)	事故者数(人)					
		死亡	行方不明	救出救助			
				重傷	軽傷	無事救助	
転落・転倒	13	13	7		3		3
急流に流され	5	8	1				7
深みにはまり	4	4	1		1		2
その他	11	13	7		1		5
合計	33	38	16		5		17

(件) (人)





## 8 年齢別発生状況

- 65歳以上（高齢者）の事故が17人（前年比－1人）と最も多く、全体の約45%を占めている。

事故者数の内訳は、死亡9人（前年比－7人）、行方不明0人（前年比±0人）、救出救助8人（前年比＋6人）であった。

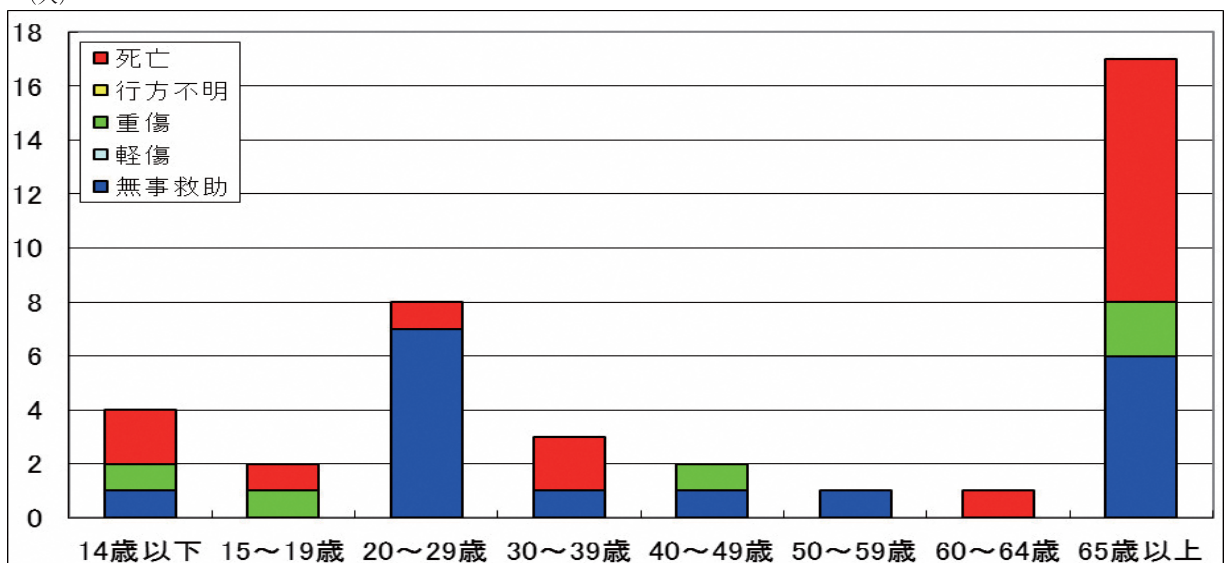
次いで、20～29歳の事故が8人（前年比＋5人）と多く、全体の約21%を占めている。

事故者数の内訳は、死亡1人（前年比－1人）、行方不明0人（前年比±0人）、救出救助7人（前年比＋6人）であった。

[年齢別発生状況]

区 分 年 齢 別	事 故 者 数 (人)					
		死亡	行方不明	救出救助		
				重傷	軽傷	無事救助
14歳以下	4	2		1		1
15～19歳	2	1		1		
20～29歳	8	1				7
30～39歳	3	2				1
40～49歳	2			1		1
50～59歳	1					1
60～64歳	1	1				
65歳以上	17	9		2		6
合 計	38	16		5		17

(人)



## 9 子ども（中学生以下）の水難事故発生状況

○ 子ども（中学生以下）の事故の発生が、4件（前年比+2件）4人（前年比+2人）で、発生件数、事故者数ともに増加した。

事故者数の内訳は、死亡2人（前年比+1人）、行方不明0人（前年比±0人）、救出救助2人（前年比+1人）であった。

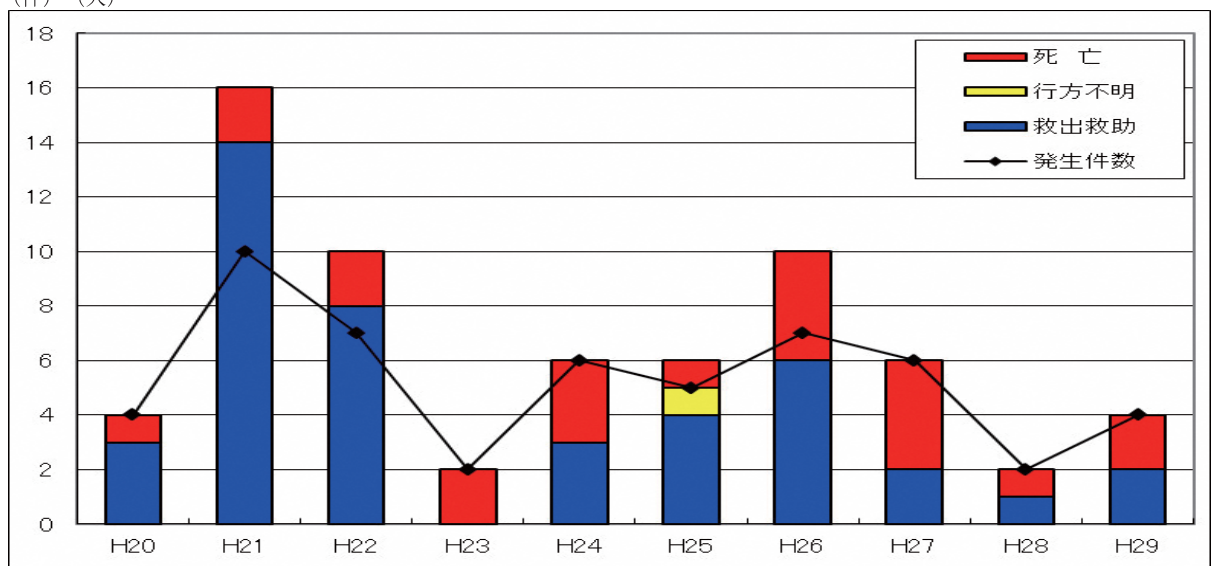
[子ども（中学生以下）の態様別水難事故発生状況]

態様別	区分	発生件数 (件)	事故者数(人)		
			死亡	行方不明	救出救助
水遊び中		3	3	2	1
水泳中		1	1		1
合計		4	4	2	2

[過去10年間における子供（中学生以下）の水難事故発生状況]

年別	区分	発生件数 (件)	事故者数(人)		
			死亡	行方不明	救出救助
平成20年		4	4	1	3
平成21年		10	16	2	14
平成22年		7	10	2	8
平成23年		2	2	2	
平成24年		6	6	3	3
平成25年		5	6	1	4
平成26年		7	10	4	6
平成27年		6	6	4	2
平成28年		2	2	1	1
平成29年		4	4	2	2

(件) (人)



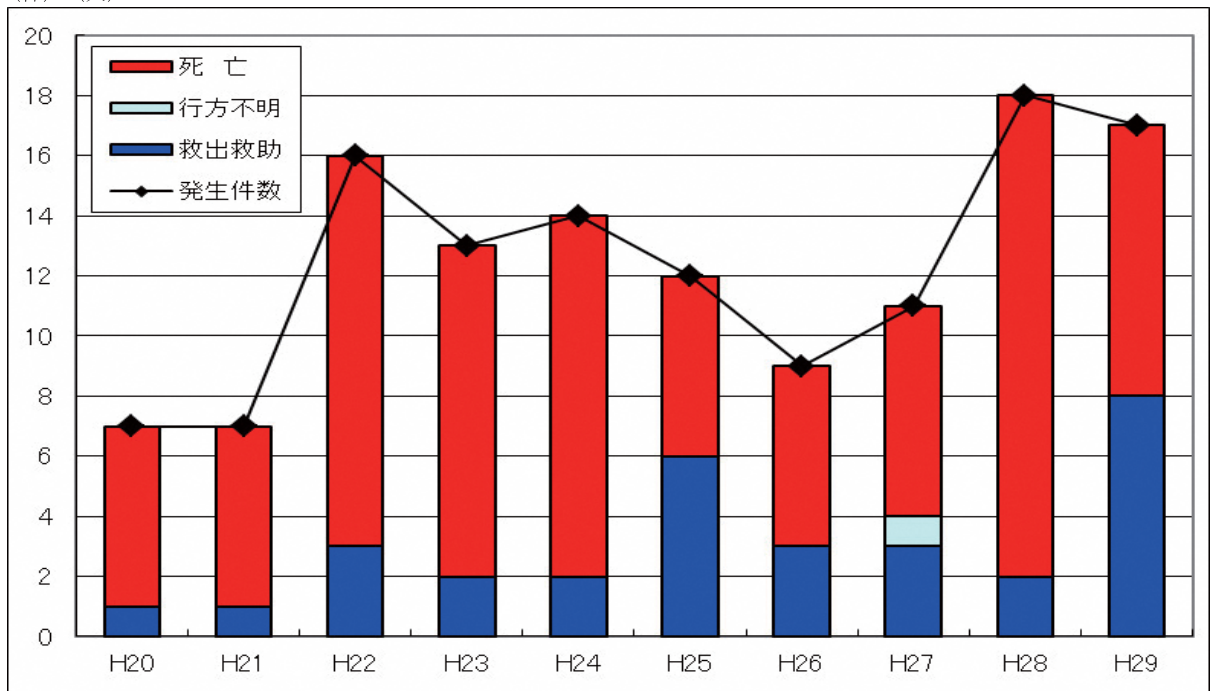
## 10 高齢者（65歳以上）の水難事故発生状況

- 高齢者（65歳以上）の事故の発生が、17件（前年比－1件）17人（前年比－1人）で、発生件数、事故者数ともに減少した。  
 事故者数の内訳は、死亡9人（前年比－7人）、行方不明0人（前年比±0人）、救出救助8人（前年比＋6人）であった。
- 事故態様については、17件中、14件が魚釣り・魚取り中の事故であった。
- 救出救助が過去10年間で最も高い数値となった。

[過去10年間における高齢者（65歳以上）の水難事故発生状況]

年 別 区 分	発生件数 (件)	事 故 者 数 (人)		
		死 亡	行方不明	救出救助
平成20年	7	7	6	1
平成21年	7	7	6	1
平成22年	16	16	13	3
平成23年	13	13	11	2
平成24年	14	14	12	2
平成25年	12	12	6	6
平成26年	9	9	6	3
平成27年	11	11	7	1
平成28年	18	18	16	2
平成29年	17	17	9	8

(件) (人)



## 11 居住地別事故者数

- 事故者を居住地別にみると、県内居住者が23人（前年比+2人）と最も多く、次いで愛知県居住者が13人（前年比-3人）、富山県居住者が1人（前年比+1人）、兵庫県居住者が1人（前年比+1人）であった。

[居住地別事故者数]

区 分 県 別	事 故 者 数 (人)					
		死者	行方不明	救出救助		
				重傷	軽傷	無事救助
岐 阜 県	23	11		3		9
愛 知 県	13	5		2		6
富 山 県	1					1
兵 庫 県	1					1
合 計	38	16		5		17

## 第2 水難救助活動の状況

### 1 出動状況

- 水難救助活動に、警察官が延べ494人、消防署(団)員が延べ750人出動した。  
○ 県警及び県防災のヘリコプターが13件の事故に対し延べ16回、警察・消防等の舟艇が6件の事故に対し延べ22回出動した。

区 分 年 別	発生件数 (件)	出動状況 (人)		へり出動		舟艇出動	
		警察官	消 防	件数	回数	件数	回数
平成29年	33	494	750	13	16	6	22
平成28年	36	568	868	14	25	7	44
増 減	-3	-74	-118	-1	-9	-1	-22

## 2 救助事例

日 時	場 所	状 況
8月11日（金）	関市 長良川	急流に流されて溺れている事故者（男性2人）の状況を他の遊泳者（男性2人）が目撃。浮き輪を活用するなどして、連携して川岸に引き上げ救助した。
8月13日（日）	美濃市 長良川	水遊び中に溺れ、流されている事故者（男性1人）の状況を周囲でカヌーをしていた者（男性4人）が目撃。連携して川岸に引き上げ救助した。

## 3 水難救助訓練実施状況

○ 県内には、長良川、木曾川、揖斐川の三大河川をはじめ、ため池や農業用水などが数多く点在している。

機動隊及び各警察署では、水難事故に対して迅速かつ的確な救助活動を行うため、独自又は消防機関等と合同で水難救助訓練を実施した。



船外機取扱訓練



舟艇組立訓練



消防機関との合同水難救助訓練



アクアラング訓練

## 4 小型船舶操縦士の養成

- 水難事故の発生時において、舟艇を活用した水難救助活動を迅速的確に実施するため、水難救助用の小型船舶が配備されている警察署や事故者の捜索等に当たる機動隊の警察官を対象に「二級小型船舶操縦士免許講習」を受講させている。



舟艇操縦訓練

## 第3 その他

### 1 水上バイク等の事故防止対策

- レジャーの多様化、アウトドアスポーツの普及により、河川の利用環境は変化してきており、遊泳者や釣り人等の第三者を巻き込んだレジャー事故の発生を防止するため、関係機関・団体と連携し、広報啓発用看板の設置や河川のパトロールを実施するなどの活動を推進した。
- 平成29年中、プレジャーボートによる事故が1件発生し、1人が負傷している。

#### 【事故概要】

8月20日（日）羽島市内の長良川において、複数人が乗船して航行中のプレジャーボートから、男性1人が誤って水中に転落し負傷した。

[過去5年間における水上バイク等の事故発生状況]

区分 年 別	発生件数 (件)	事 故 者 総 数 (人)			
		死者	負傷	救出救助	
平成25年	3	3	3		
平成26年	3	4	4		
平成27年	0	0			
平成28年	1	4	2	2	
平成29年	1	1	1		

## 2 水難事故防止広報活動

- 県下の警察署では、7～8月の夏期に、関係機関と連携し、河川などの危険箇所に対する安全点検やパトロールを行い、遊泳者、水上バイク利用者、釣り人などに対する事故防止広報や安全指導を行った。

また、交番・駐在所が発行するミニ広報紙や、テレビ、ラジオなどのメディアを利用した広報啓発活動を展開した。

- 岐阜中・岐阜北警察署では、夏期期間中、長良川河畔において、NPO法人長良川環境レンジャー協会員らと連携し、長良川のより安全で快適な河川利用を図るため、河川利用者に対し、マナー向上のための広報啓発活動を行った。



水上バイク利用者に対する広報  
(木曾川)

- 岐阜羽島警察署では、夏期期間中、羽島市内の木曾川河畔において、木曾川上流河川事務所職員らと連携し、水上バイク等の安全利用やマナー向上のため、パトロール及び広報啓発活動を行った



地元住民に対する講話

- 海津警察署では、7月30日、地元における自主防災訓練の機会を活用し、地域を管轄する駐在所員が、参集した地元住民に対し、水難事故防止等に関する講話を行った。

- 揖斐警察署では、7月21日、揖斐川町内のオートキャンプ場（粕川）において、揖斐土木事務所、揖斐郡消防組合、揖斐川町役場等の職員らと連携し、水難事故防止を呼びかける広報啓発活動を行った。



水難事故防止広報（粕川）

- 加茂警察署では、6月17日（鮎釣り解禁日）、加茂郡内の白川河畔において、署員が作成した水難事故防止を呼びかけるチラシを鮎釣り客らに配付するなどし、広報啓発活動を行った。

- 飛騨警察署では、6月25日（鮎釣り解禁日）、飛騨市内の宮川河畔において、署員が作成した水難事故防止を呼びかけるチラシを鮎釣り客らに配付するなどし、広報啓発活動を行った。

鮎釣り客に対する広報



宮川



白川



広報チラシ（加茂警察署作成）